

被害と加害のあいだで、 心理職は何を考えるのか

一般社団法人 福岡県臨床心理士会
被害者支援領域主催研修会
(後援) 一般社団法人福岡県公認心理師会

心理職は、被害者支援に関わることもあれば、加害者支援に関わることもあります。さらに、被害者と加害者の双方に関わる場面も少なくありません。例えば福祉分野では、虐待を受けた子どもへの支援と同時に、虐待を行った保護者への関わりが求められることがあります。また、産業・労働分野においても、ハラスメントの被害者と加害者の双方から相談を受けることがあります。

近年、加害者支援の領域では、加害者の中にある「被害者性」にも注目が集まっています。被害と加害を単純に切り離して考えるのではなく、両者を視野に入れながら理解し、支援を考えていく視点が求められています。

本研修会では、心理職に関わるさまざまな分野における被害者支援と加害者支援の現状を共有するとともに、支援の現場で生じるジレンマ（葛藤や迷い）について考えます。参加者それぞれが自身の職域や関心領域に照らしながら、心理職としてどのようにこれらの課題と向き合っていくのかを共に考える機会とします。

会長 姫島源太郎
被害者支援領域担当理事 野村れいか

日時	2026年5月17日（日）10:00～16:00
受付開始	09:30～
会場	西新プラザ 〒814-0002 福岡県福岡市早良区西新2丁目16-23 https://nishijinplaza.kyushu-u.ac.jp/access.html
方法	対面形式、講師からの話題提供を受けてグループワークを実施予定
定員	60名（福岡県臨床心理士会会員・福岡県公認心理師会会員）
参加費	3,000円（福岡県臨床心理士会会員・福岡県公認心理師会会員）4,000円（非会員の臨床心理士・公認心理師）
申込期間	2026年4月7日～5月8日まで ※ただし、定員に達した時点の受付終了とする
申込方法	<p><福岡県臨床心理士会 会員の方> ・県士会HP マイページからお申し込みください。</p> <p><福岡県臨床心理士会 会員以外の方、マイページからの申込ができない方> 以下のフォームまたはQRコードよりお申込み下さい。 https://forms.office.com/r/P1MTbk6kZv</p> 
話題提供者	<p>（福祉分野） 桑鶴真行先生／社会福祉法人 仏心会 福岡子供の家、児童養護施設の入所児童や施設職員の支援に従事</p> <p>（司法・矯正分野） 森 治美先生／元少年補導職員、性被害少年や加害少年の支援に従事</p> <p>（産業・労働分野） 大平梨絵先生／日本精工九州株式会社総務部健康推進室、職場内のハラスメント対策に従事</p>
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・臨床心理士ポイントは、2ポイントです。 ・個々の要因でトラブルがあり不参加となった場合の参加費の返金、ポイント申請はできかねますのでご了承ください。